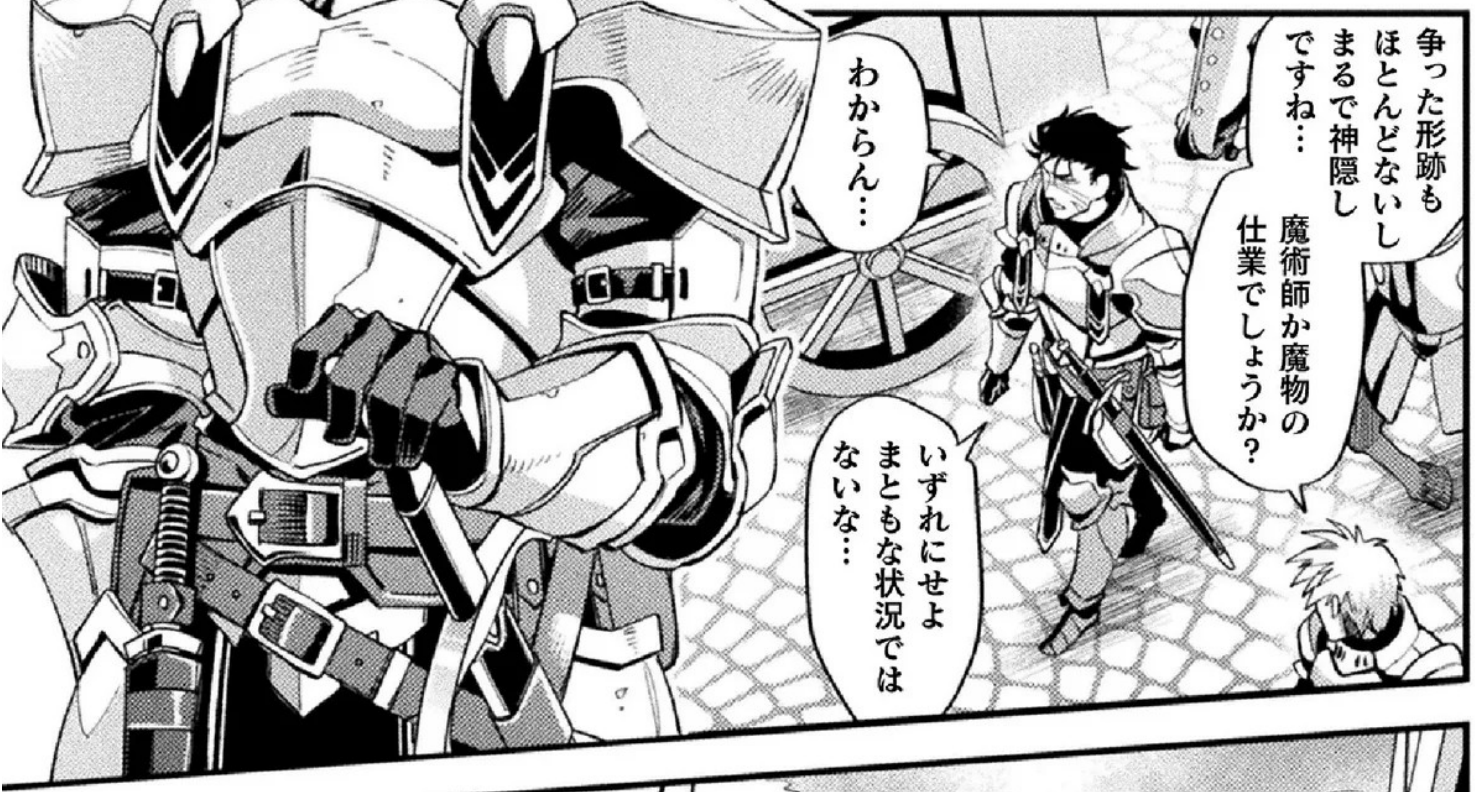
Parasitoid
～胚胎の騎士～
Black Cherry
成年コミック
Presented by 大介

Parasitoid

～胚胎の騎士～

ここも
無人か…
一体
どうなって
いるんだ


争った形跡も
ほとんどないし
まるで神隠し
ですね…
魔術師か魔物の
仕業でしょうか？
わからん…
いずれにせよ
まともな状況では
ないな…

小さい町とはいえ
これだけの集落が
たった一晩で
無人になるなど
聞いたことがない
それにこの
深い霧……
嫌な予感が
するな……

我が騎士団が
調査の命を
受けた以上
手土産なしには
戻れん
原因によっては
我々の沽券どころか
国の存続にも関わる
心して
かかれ
はっ！

団長！
アルバ団長！
はっ
はずれの
民家が…!!
これは…

魔…物…？
ですか…？
あぁ…しかし
こんな種は
見たことがない
この大陸のモノ
ではない外来種
でしょうか…

ズズズ…
なんて
巨大なんだ…
恐らく今見えている
部分は本体の一部だ
見えない地底部分は
これよりも更に…
ッッ…

……隊編成が
悪かったな
ロラン
ひとっ走りして
対魔部隊と魔導部隊を
総戦力で寄越すように
伝えてきてくれ
はっ

我々は町の
封鎖を行う
外部の者が
何も知らずに
立ち入ってはまず……

うわあああッ!!
!?

ロラン!?
ッ!?
しまっ…

ギチッ
がっ！
ぐう！
ぐぐぐ…
クソッ
閉じ込め
られた！
おえっ！
なんて
ニオイだ
!?
骨ッ…!?
まさか町の住人!?
全員食ったって
言うのか!?
ニュル…
ということは
ここは
あの魔物の…
キキキ
キキキ
胃……

どうやら我々もコイツにとってはただの養分……
ということらしいな……
円陣を組め!!
来るぞ!!

はあっ!!
ハアッ！ ハアッ！
どうした
そんなものか!?
私はまだ
生きてるぞ!!
よくも
我が国民に…
国の財産に手を
出してくれたな!!

貴様の消化器官が
全て使い物に
ならなくなるまで
相手してやる!!
ナメる
なァ!!
私を生きたまま
腹に入れたことを
後悔しろ!!

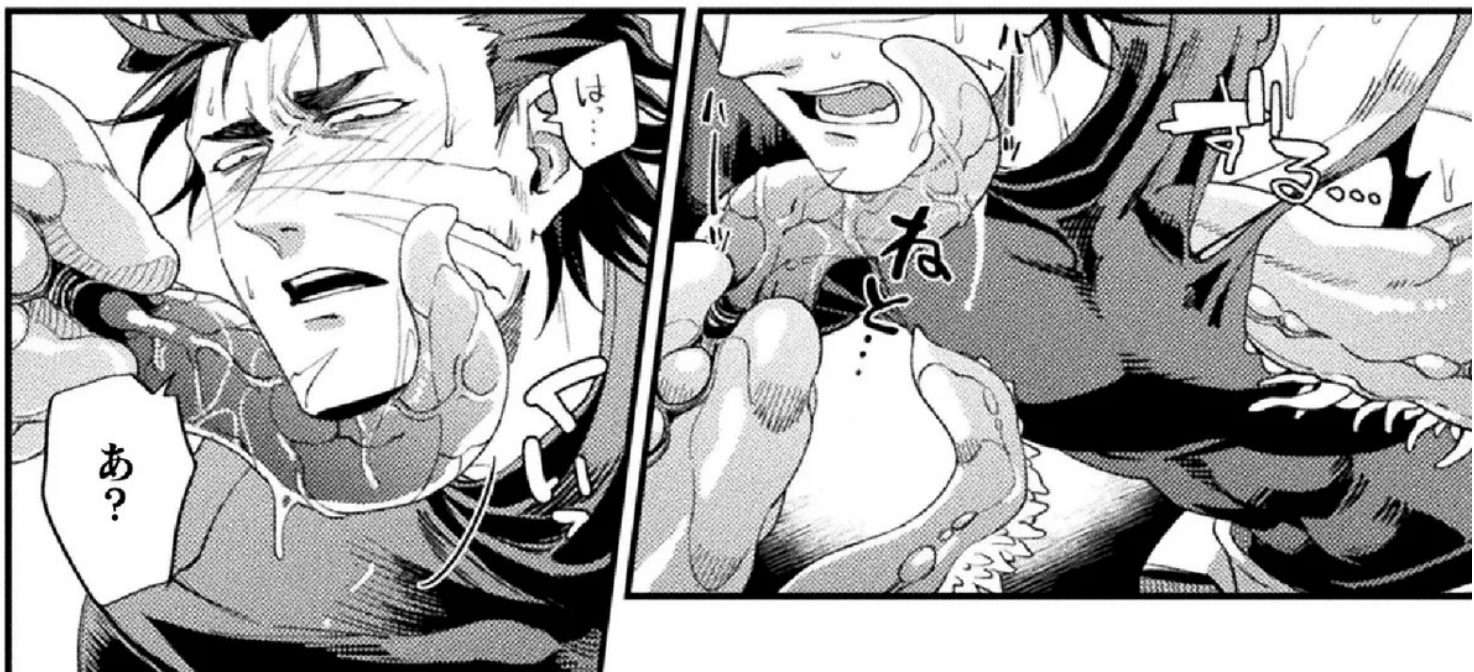
ギュギュ…
おず…
ギュウ…
退いた…!?
この隙に本体の急所を…
しゅる…
ガバ
!?
何ッ!?
クッ！クソッ！放せ！
このっ…!!
だっ…駄目だ…！
飲み込まれ…
ズズ

……
ん……
ッ!?
ここは…!?
さっきの場所とは違う…?
何故だ?
今ので窒息死させるつもりだったのでは…
くっ…なんだこの匂いは
先ほどの肺を焼くような胃酸の激臭とは違う
熟れ過ぎた果実を潰したような…甘い…

おかしい…
心臓が異常なほど
鼓動している
フゥッ
フゥッ
ドッ
ドッ
ドッ
このガスの影響か？
ハァーッ
呼吸が…苦しいッ
ハァーッ
にゅるぃ…
ヴュッ
ずるる…
場所を変えて
第二試合と
いうことか…
いいだろう…
来いッ
ドッ
ハァ
カタ
カタ
はぁっ
ハァッ
ッ…
カタ
カタ
はぁっ…
ずるっ…
あ…

はぁっ！
あっ…
ガクッ
剣が…
持てない…!?
麻痺ガスか…!?
呼吸をするほど
身体の力が抜けていく
クソッ…！
動けなくなったところを
ゆっくり食おうって
魂胆か……！

駄目だ
こんなところで
終わるわけには
……
ハァッ！
ハァッ！
ハァッ！
意識が
かすむ……
視界が……
私にはまだ
使命が……


ハ…ッ
ねと…
は…
あ？

何を…
あっ！
クソッ
やめろっ！
くっ あっ
触るなっ！
放…せぇ！
ズッ
ズッ
ビリビリ
ビリビリ
ギギッ
……!?
攻撃して
こない!?
私を捕食する
つもりでは
ないのか!?
ここに連れ込んだのは
何か他に意図があると
でもいうのか
グッ
ガッ
ガ…
こ……
これではまるで…
ッは
なんだ…
この触れ方は…
敵意や殺意が
微塵も感じられない
ぬと…
ぬりゅ…
ラ……

下手に反応すると
余計にこの魔物を
つけ上がらせる…!
早く
抜け出して
反撃を…

あっ
どこ触って……
やめろ!
何が目的だ貴様ッ

魔物に
弄ばれるなど
騎士の恥……

くっ!
殺すなら早く
殺せっ!

この部屋のガスの
作用か…!?
まさか
コイツ……
ばっ 馬鹿なっ
こんな所に触れられて
快感を得てしまって
いるだと!?

なっ!? ふっ ふざけるな! やめっ
ビッ
ビッ
ぽお
ぬおおおおっ?

なんだ これは!?
中の細い触手が 絡みついて…ッ
離せッ
おっ
ヌおおおおッ
搾り 取られるッ

も… 最早 確信的だ
この魔物は私を 殺す前に 辱めるつもりだ!
待て! やめろっ! それ以上は
おっ
ぐっ
おっ
ヤメッ

な…
何を
ヒ…ッ!?
そんなっ
まさか!?
そこはっ…
待っ
ッ
ビキビキ。
ビキ。ビキ
…あ?

ゴリュッ
ゴリュ
ゴリュ
ゴリュ
ゴリュ
かはっ
はっ
はっ
はっ
ガッ…
挿入れ…られ…
うぁっ
おはひっ
ひっ
ひっ
ぎっ
尻が…
腹の奥が壊れる!!
さっ裂ける!!
熱いッ!!
ガクガク
ガクガク
ガクガク
ガクガク
ガクガク
ガク
ずぷぷ

真っ向勝負で
殺されるならまだしも
こんな屈辱ッ…!!
ぐっおっ
許さんッ!
殺すっ!
フーッ
殺して
やる…ッ!
ころっ…
ずおおおッッ
おっ
ズポポ
グプ…
がっ
おおッ
ずぼっ
捲れるッ
内臓が掻き
出されるッ
腹の一点を突かれると
頭が真っ白になる!
ゴリュッ
んおおおおお
かっ 快感なのか!?
こんな暴力的なものが!?
意識を持っていかれる!!

ぐっおっ
屈して…なるっ
ものかッ
がおっ!!
ブッ
ブッ
ぐッ
ドズッ
ドズッ
貴様が
ラおっ
何をしようと
私は折れ…
んぶラッ

んぶおごっ
げぶっ
ゴボッ
ガッ
おおおおッ
い…
息がッ
ゴズッ
ごぼっ
ゲボッ
気を強く持て!
この程度…ッ
幾千の魔兵との
戦いに比べたら…
お…ブッ

いずれ必ず
隙を見せる筈
今は耐えて
反撃の機会を
待つしか……
!?
んごぶッ!?
部屋のガスより
更に濃厚な…ッ
この匂い!?
お!?
お!?
おッ
おごおッ!!?
おッ!!?

ほッ
うぉッ
おぉおぉおッ
ガクガク
おっ
おッ おッ
ガクガクッ
ガク
らぉ…
お…
お…
お……
……
する…

!?
ぶはッ
ギュッ
お゛え゛え゛え゛ッ
ゲボァゲボ
ビシャッ
ゲボッ
ハァーーッ
ハァッ
ま…負けて……なる…ものか……
まだ…勝負は終わって…いない…

ギュウ…
あ……
ギュ
ギュギュ…
ギュウ…
あぁ…
チュポッ
ああ゛ぁ゛ぁ゛ぁ゛ッ!?
ゔあ゛ぁ゛ぁ゛ぁ゛ぁ゛ぁ゛
ああッ
なぁ!?
ビクンッ
ビクッ
あッ!?
身体が!?
身体が熱い!!
ビクビク
ビクビク

血液が燃える！
身体の震えすら
快感に置換
されるッ!?
なんだこれは!?
うっ動けなッ
空気に
触れただけでイッ――
やめろ！
やめてくれ！
今そんな
ことをされたら
……

ギッ
ギュルルルルルルッ
おおおおおっ
耐えろ！
耐えっ…
耐える…!?
この地獄をあとどれだけ!?
無理だ！
絶頂が止まらない！
何も考えられないッ!!
ズズ
ズズ
こんな状態でまた腹の奥を突かれでもしたらもう…
耐えられない!!!
ビクビクビクビク

気持ちいい！
尻を抉られるのが！
腹の中を
掻き回されるのが
狂うほど気持ちいい!!
騎士の誇りも尊厳も
全て快感に
塗り潰される！
助けてくれっ!!
無理だ！
こんなっ勝てなっ！
頼む
殺してくれ！
もうイキ
たくないっ！
嫌だ！

おっ おんッ
ガクガク
イグッ
また出る！魔物に犯されてまたっ！無様に吐精する！
ブルビュルルッ
おおお～～～ッ
いやだッ出るッ
おおおそんなっイったのにっ
ひぃぃぃッ やめてくれ！壊れる！壊れる！
やめてくれぇっ！
ドチュッ
ゴボッ
んおおおおッ
こんなのッ死んでいった団員たちに示しがつかなっ
ゔあああぁ またイグッ
ぐぽっ
おっ
ちがうっ！すまなっ 私はっ！
んぁあッ 私はぁあっ！

あぉおぉ
壊れる！イグッ
ドチュッ ドスッ
ドチュッ ドチュッ
しぬ じぬ じぬ
おっ おっ ビグッ
おッ ほぉッ
もう無理だ もう嫌だッ
ヴぉおイグッ
イキ死ぬッ
モラッ モラッ
ピタッ
えあッ!?
あっ
ひはっ あっ
ひっ…!?
あ？ な……
は！？
とっ止まった…？
ひっ おッ
や…やっと おわり…なのか…
助かっ…
ハァッ ハーッ

アッ?
え?.
あっ?.
プチッ
プチッ
あぁ
プツッ
あっ
ガクガク
あっ?
あっ?.
あっ
えっ
あっ
ビクンッ
おっ
ビクンッ
ビクン
おっあっ
アッ
あっ
アッ
あ
あ

ボッ
使命
……え？
はぁっ
はっ
はっ
お前の使命も!?
はっ…
はっ
あ……
わ…私の
使命は……
国を…民を……
魔物から……
守る……
こと……
ボタ
ボタ
ボタ
違う

あ゛が゛あ゛ッ
お゛ッ
お゛ッ
私ノ子産も
ドチュッ
ドチュッ
嫌だッ
ちがッ
私はァッ
ドスッ
ドスッ
ぞんなッ
あ゛ッ

お前の
肉だ体と
全てが
嫌だッ
嫌だッ
ボロロロ
ズルルル
ビキビキビキ
ボッキリ
ブッ
ブピキ
ワタル子に
ヘルプロ

ゴポッ
ぐぐぐ
ズル…
お…
おぉ…
ピクッ
ピクッ
ピクッ
あ…
あ…
あ
むりやり
お前の使命は？
ひゃ——っ
ひゅ——っ
ひゅっ
かひゅっ
あ……わ……
私
の
使命は……

この身で
あなたの子を…
はっ
はっ
はあっ
産み
そだ…てる…
ことです

な…んだ
この
穴は……
ゴゴゴゴ…
地下洞窟が
崩落でも
したのか…？
よう…
アルバ団長を
発見しました
目立つ外傷は
ないのですが
衰弱が激しい
です
至急 手当を！
我々は他の
生存者を探すぞ！
う…
あ…
アルバ団長！
大丈夫ですか
今馬車に
お運びします
い…
行かねば…
早く…
はぁっ
連れ…て
いって
…くれ
はぁっ
は…
無理に動かないで
ください…！
お体に障ります
王都に……
ドクン…
End

Black Cherry

ブラックチェリーコミックス

Parasitoid
～胚胎の騎士～

漫画◉大介

編集◉キルタイムコミュニケーション
装丁◉マイクロハウス
発行◉株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041　東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
編集部 TEL03-3551-6147 ／ FAX03-3551-6146
販売部 TEL03-3555-3431 ／ FAX03-3551-1208

© 大介
※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどし
お書きください！　読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

https://ktcom.jp/goiken/

手紙・ハガキ・メールの宛先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
(株) キルタイムコミュニケーション
ブラックチェリーコミックス感想係
メールアドレス　blackcherry@ktcom.jp

Illustration by 大介
「Parasitoid ～胚胎の騎士～」
©大介